

# 会員交流広場

## ～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(7月18日(水)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp>)に掲載させていただいております。

海風がはこぶ磯のかおり、おいしい海の幸、遠くは立山などの山並みに抱かれた美しい都が今も目に浮かびます。

雪が降りしきる冬の間も人々は耐えて、若者たちは屋内スポーツを楽しみ、机に向かって研究に情熱を注いでいるのでしょう。未来を開いてくれることを願っています。

草笛光子さん主演の映画「ばあちゃんロード」は富山県氷見市がロケ地であり、身近に感じました。最近たびたび富山県がテレビに放映されるようになったような気がしております。北陸新幹線の効果でしょう。富山東京間が近くなりました。

観光面にもっと注力すべきと思います。他県からの観光誘致、食文化、土産、景観は新幹線効果とともに大いに宣伝すべし。JTB等観光業者と連携して宣伝すれば良い。先日、NHKで「鶴瓶の家族に乾杯」で富山県高岡市の大仏他いろいろ街並みが紹介されて面白かったです。

春夏秋冬いずれの季節も観光も食べ物も祭りも素晴らしい。勤務から離れた後も毎年行っています。たくさんの方にPRして、ひとりでも多くの人に富山の良さを知って頂きたいと思います。

久方ぶりの幕内力士となった朝乃山(高砂部屋)関を是非応援してください。出身力士を場所で応援する観客席をテレビ中継で見ることが増えました。最近、席がとれない人気ですが、もし国技館のチケットが手に入った時には、富山県の安上がりでのPR法として、「朝乃山」と書いた大きな紙を持参して取組の時に高くかかげてください。

東京で活躍している方と話をすると「富山出身です」と話す方が案外います。皆さん積極的に自分からは言わないですが、こちらが富山出身者だと知ると「私もです」と話されます。こういう素晴らしい人々で富山応援団ができると、もっと盛り上がりますね。皆さんシャイで自ら話しません、ファンクラブがそうした絆作りの一翼を担っているのは、素晴らしいことだと思います。

富山を懐かしく思い出し、また行きたいという衝動に駆られる一番の要因は、私の場合「食」である。

私が懐かしむ富山の味は「ホタルイカ」「白エビ」「ます寿司」ではない。富山に行かなければ食べられない「ぼてやん多奈加のぶた玉」「糸庄のもつ煮込みうどん」「吉宗のカレーうどん」といったB級グルメなのだ。

熊本地震から2年2か月経ちました。まだまだですが、インテリアデザインの仕事が被災現場へ少しでも役に立てばいいと思っています。

時折の帰省時に、高岡駅等で観光客の方の「JRによる高岡駅から金沢方面への移動が不便だ」との声を耳にしますが、そのあたりの解消も、観光客誘致のネック打開に役立つのではないのでしょうか(悪評が伝播する前に・・・)

家屋が大きいとか、教育県だとかだけじゃなくていい。ぶり、ホタルイカ、白エビだけじゃなくていい。立山、五箇山だけじゃなくていい。

その先が一向に見えてこない。もっと他県にない、他県より優れているものがあるはず。もっと新しい富山をアピールする必要がある。新幹線と言っても金沢ばかり!

もっと「滞在したいとやま」「住みたいとやま」「地震など災害の少ないとやま」など

富山での生活は2年弱でしたが、56豪雪も曇気楼も毎年の立山登山も体験しました。その後ずっと、ますの寿司の竹を利用した自作の箸を使用しつづけています。使いやすいし、富山を思い出します。